令和 8 年 11 月 12 日

東京大学地震研究所　特任研究員（特定有期雇用教職員）　募集要項

東京大学地震研究所では、文部科学省委託事業「情報科学を活用した地震活動・地震動評価技術の高度化」（STAR-E NEXT プロジェクト，研究代表者：東京大学地震研究所 長尾大道）を推進する特任研究員を募集します。

1. 職名及び人数

特任研究員（特定有期雇用教職員） 4 名

2. 契約期間

(1) 令和 9 年 3 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
※令和 9 年 3 月 1 日に着任した場合に適用

(2) 令和 9 年 4 月 1 日以降のなるべく早い時期から令和 10 年 3 月 31 日まで
※令和 9 年 4 月 1 日以降に着任した場合に適用

3. 更新の有無

審査により更新の可能性があります。更新する場合は 1 年ごとに行います。更新の可否は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断します。

ただし、「2. 契約期間(1)」の適用となった場合の更新回数は 4 回まで、「2. 契約期間(2)」の適用となった場合の更新回数は 3 回までとし、在職できる期間は、いずれの場合も令和 13 年 3 月 31 日を限度とします。

4. 試用期間

採用された日から 14 日間

5. 就業場所

東京大学地震研究所（東京都文京区弥生 1–1–1）
変更の範囲：原則同一部局内

6. 所属

所属部門・センターは採用内定後に決定

7. 研究分野

最先端情報地震学

8. 職務内容

STAR-E NEXT プロジェクトは、日本の信頼度の高い多様かつ大規模な地震関連データ群を活用するため、人工知能をはじめとする最先端の情報科学による効率的かつ融合的な解析手法の開発により、防災に資する高精度かつ迅速な地震評価と被害予測や被害対策に結び付け、地震調査研究推進本部における地震活動・地震動評価の高精度化・迅速化と、人命の保護、発災時の被害最小化、経済社会の維持、迅速な復旧・復興という国土強靭化の基本目標達成を目指すものです。

東京大学を代表機関および国内 9 機関（防災科学技術研究所、京都大学、産業技術総合研究所、統計数理研究所、大阪大学、北海道大学、弘前大学、東京科学大学、海洋研究開発機構）を参加機関とし、令和 8 年 4 月より 5 ヶ年の計画で研究開始となりました。

現在、STAR-E NEXT プロジェクトでは以下の 9 つの研究テーマが実施されています。

① 地震・スロー地震のイベントカタログ作成技術の高度化
② 大地震の影響を考慮した地震活動および地震ハザードの短中長期評価の高度化
③ 微弱地殻変動検出のための測地データ自動解析手法の開発
④ 断層すべり等の高度な推移予測モデルの開発
⑤ 被害予測に向けた地震動伝播予測技術の開発
⑥ 歴史記象や歴史資料から過去の地震関連現象や知見を発見する情報科学技術の開発
⑦ 次世代型科学技術機械学習手法の開発
⑧ 未知の地震関連現象を発見するための情報科学技術の開発
⑨ 情報科学と地震学・測地学の融合分野の国際連携強化と若手人材育成

本公募で採用される特任研究員は、東京大学地震研究所が主に関わっている研究テーマ①、⑤、⑥、⑦、⑧に従事することを想定していますが、加えて⑨への貢献や、情報科学と地震学の融合分野の発展に貢献する①～⑧以外の新たな研究テーマに取り組むことも歓迎します。

変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがあり得る。

9. 就業時間

専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分勤務したものとみなされます。

10. 休日

土・日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

11. 休暇

年次有給休暇、特別休暇 等

12. 賃金等

年俸制を適用し、業績・成果手当を含め月額 40 万円～50 万円程度（資格、能力、経験等に応じて決定します)、および通勤手当（原則 1 月あたり 55,000 円まで）

13. 加入保険

法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入

14. 応募資格

(1) 着任時に博士の学位を有する者（学位取得見込み者を含む）または同等の能力を持つ者
(2) 地震学もしくは情報科学・統計科学・応用数理科学に関する業績があること
(3) 地震波形データ解析の経験は問わないが、人工知能をはじめとする情報科学技術を活用した地震に関するデータ解析あるいは物理シミュレーションの手法開発に意欲があること

15. 提出書類

(1) 東京大学統一履歴書
以下の URL から様式をダウンロードして下さい。
https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html
(2) 研究業績リスト
論文については査読の有無を明記し、科研費等の外部資金の獲得実績や、日本学術振興会特別研究員の採用歴、あるいは受賞歴がある場合には、それらについても記載して下さい。
(3) 主要論文 3 編以内の PDF ファイル　各 1 部
(4) これまでの研究概要（A4 用紙 2 ページ程度）
(5) 着任後の研究に対する抱負（A4 用紙 2 ページ程度）
「8. 職務内容」に記載されている研究テーマのどれに沿っているかを明記して下さい。ただし、業務的内容である研究テーマ⑨への貢献は歓迎しますが、⑨のみを対象とする研究テーマの設定はできません。また、①～⑧に加え、情報科学と地震学の融合分野の発展に貢献する新たな研究テーマの提案も歓迎します。
(6) 応募者について参考意見を述べることのできる方 2 名の氏名と連絡先
(7) 着任希望日
書類審査開始から着任まで、通常 3～4 ヶ月程度を要します。

16. 応募締切

令和 8 年 12 月 18 日（金）午後 5 時 必着　※適任者が見つかり次第、公募を終了します。

17. 選考方法

書類審査および面接による。書類審査合格者のみ、面接の詳細を連絡します。

18. 応募書類提出方法

件名を「STAR-E NEXT プロジェクト特任研究員応募」とした電子メールに応募書類一式を添付し、「19. 応募書類送付先・問い合わせ先」に記載の STAR-E NEXT プロジェクト実施本部まで送付して下さい。

19. 応募書類送付先・問い合わせ先

STAR-E NEXT プロジェクト実施本部（東京大学地震研究所 内）
E-mail: star-e-next_office ％ g.ecc.u-tokyo.ac.jp（％を@に置き換えて下さい）

20. 募集者名称

国立大学法人東京大学

21. 受動喫煙防止措置の状況

敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

22. その他

取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。

「東京大学男女共同参画加速のための宣言（2009.3.3）」に基づき、女性の積極的な応募を歓迎します。採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。

＊参考

文部科学省委託事業「情報科学を活用した地震活動・地震動評価技術の高度化」
（STAR-E NEXT プロジェクト）
https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/mext_03435.html
https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/STAR-E-NEXT/